

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教 科： 国語 科 目： 現代の国語 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： （1組：宗） （2組：宗） （3組：宗） （4組：宗） （5組：宗） （6組：宗）

使用教科書： （ 高等学校 精選現代の国語（第一学習社）714 ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	科目理解	オリエンテーション							○	1
	「生きもの」として生きる（中村桂子） 【知識及び技能】 筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。（(1)ウ） 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。（(C(1)ア） 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿ってまとめる。	・文章構成をもとに把握させる ・自分に照らして考えを深めさせる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深めることができる。（(1)ウ） 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。（(C(1)ア） 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○	○	1
	「本当の自分」幻想（平野啓一郎） 【知識及び技能】 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。（(1)オ） 【思考力、判断力、表現力等】 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。（(C(1)ア） 【学びに向かう力、人間性等】 反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握する。	・主題に至る論の構造を把握させる。 ・主張に説得力を持たせるための論の展開について考えさせる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考えることができる。（(1)オ） 【思考力、判断力、表現力等】 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考えることができる。（(C(1)ア） 【主体的に学習に取り組む態度】 反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握しようとしている。	○	○	○	6
	書き方の基礎レッスン 【知識及び技能】 表記・表現の基本ルールを理解する。（(1)イ） 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるよう、接続や比喩表現の仕方を工夫する。（(B(1)ウ） 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。	・表記・表現の基本ルールを理解させる。 ・接続表現の種類や用法を理解させる。 ・比喩などの表現技法を理解させる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 表記・表現の基本ルールを理解することができる。（(1)イ） 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるよう、接続や比喩表現の仕方を工夫することができる。（(B(1)ウ） 【主体的に学習に取り組む態度】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけようとしている。	○	○	○	2
	水の東西（山崎正和） 【知識及び技能】 東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握させる。（(2)ア） 【思考力、判断力、表現力等】 東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。（(C(1)ア） 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析する。	・東西の対比関係に着目させる。 ・日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握させる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握することができる。（(2)ア） 【思考力、判断力、表現力等】 東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述することができる。（(C(1)ア） 【主体的に学習に取り組む態度】 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査						○	○	○	1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
2 学 期	論理分析【対比】「間」の感覚（高階秀爾） 【知識及び技能】 文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。（(1)オ） 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。（(C(1)イ） 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析する。	・「論理の型」（対比）を理解させる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解することができる。（(1)オ） 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。（(C(1)イ） 【主体的に学習に取り組む態度】 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	○	○	○	3
	無彩色の色（港千尋） 【知識及び技能】 ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握する。（(2)イ） 【思考力、判断力、表現力等】 日本文化について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。（(C(1)ア） 【学びに向かう力、人間性等】 本文で例示された「茶の湯」と「千利休」について調べたことを進んで報告し、自分の考えを深める。	・マイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握させる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握することができる。（(2)イ） 【思考力、判断力、表現力等】 日本文化について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述することができる。（(C(1)ア） 【主体的に学習に取り組む態度】 本文で例示された「茶の湯」と「千利休」について調べたことを進んで報告し、自分の考えを深めることができる。	○	○	○	4
	ものとことば（鈴木孝夫） 【知識及び技能】 具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。（(3)ア） 【思考力、判断力、表現力等】 言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。（(C(1)イ） 【学びに向かう力、人間性等】 ・筆者の主張に従って具体例を言葉で定義し、表現の仕方を工夫して説明する。	・具体（例示）と抽象（意見）の関係を理解させる。 ・筆者が主張する言語の性質を理解させる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解することができる。（(3)ア） 【思考力、判断力、表現力等】 言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解することができる。（(C(1)イ） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の主張に従って具体例を言葉で定義し、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査						○	○	○	1
	話し方の工夫 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を理解する。（(1)イ） 【思考力、判断力、表現力等】 相手・目的・場面に応じた言葉遣いなど伝わりやすい表現方法を工夫する（A(1)ア） 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使用する。	・話し言葉と書き言葉の特徴を理解させる。 ・相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解させる。 ・相手により伝わりやすい表現方法を理解させる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用	○			【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を理解することができる。（(1)イ） 【思考力、判断力、表現力等】 相手・目的・場面に応じた言葉遣いなど伝わりやすい表現方法を工夫することができる（A(1)ア） 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとしている。	○	○	○	3
	論理分析【具体と抽象】日本語は世界をこのように捉える（小浜逸郎） 【知識及び技能】 文章を分析的に読み、具体例を多用した論理の展開について理解する。（(1)ア） 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。（(C(1)ア） 【学びに向かう力、人間性等】 具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析する。	・「論理の型」（具体と抽象）を理解させる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 文章を分析的に読み、具体例を多用した論理の展開について理解することができる。（(1)ア） 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。（(C(1)ア） 【主体的に学習に取り組む態度】 具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	○	○	○	3
	現代の「世論操作」（林香里） 【知識及び技能】 情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。（(2)イ） 【思考力、判断力、表現力等】 情報やメディアの現状について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。（B(1)ウ） 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書く。。	・問題提起を理解させる。 ・メディア社会に生きる者として問題意識を持させる。 ・教材 ・ワークシート ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つことができる。（(2)イ） 【思考力、判断力、表現力等】 情報やメディアの現状について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述することができる。（B(1)ウ） 【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書こうとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○	○	1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			語・ 聞	書	読					
3 学 期	実用的な手紙文の書き方 【知識及び技能】 ささまざまな「お便り」の種類を知り、手紙の書き方を理解する。(11イ) 【思考力、判断力、表現力等】 相手に情報を適切に伝える文章の書き方、表現の仕方を習得する。(B1イ) 【学びに向かう力、人間性等】 書いた年賀状を進んで批評し合い、批評を踏まえて表現を工夫する。	・実用的な手紙文として、年賀状の書き方を理解させる。 ・相手に情報を適切に伝える文章の書き方を習得させる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 実用的な手紙文として、葉書文の書き方を理解することができる。(11イ) 【思考力、判断力、表現力等】 相手に気持ちを適切に伝える文章の書き方、表現方法を習得することができる。(B1イ) 【主体的に学習に取り組む態度】 書いた年賀状を進んで批評し合い、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫しようとしている。	○	○	○	2
	身近な製品の取扱説明書を作成する 【知識及び技能】 情報を的確に説明する方法を理解する。(11イ) 【思考力、判断力、表現力等】 情報を相手にわかりやすく説明する表現方法を工夫する。(B1ウ) 【学びに向かう力、人間性等】 教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に身近な製品の取扱説明書を書く。	・情報を的確に説明する方法を理解させる。 ・情報を相手にわかりやすく説明する方法を理解させる。 ・わかりやすい説明を実践できるようにさせる。 ・教材 ・ワークシート ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 情報を的確に説明する方法を理解することができる。(11イ) 【思考力、判断力、表現力等】 情報を相手にわかりやすく説明する表現方法を工夫することができる。(B1ウ) 【主体的に学習に取り組む態度】 教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に身近な製品の取扱説明書を書くようしている。	○	○	○	2
	生と死がつくるもの(柳澤桂子) 【知識及び技能】 意味段落の関係性を捉え、対比、抽象と具体等論理を理解する。(11イ) 【思考力、判断力、表現力等】 生命科学の観点から提示される「死」について考えを深める。(B1ア) 【学びに向かう力、人間性等】 本文で示された「死とはどのようなものか」について粘り強く考える。	・内容を把握するうえで、既習の、対比を捉える手法や、抽象と具体について確認させる。 ・生物学的な事実をひとつひとつ押さえることで、「能動的な死」とはどのようなものか理解し、私たちが一般的に抱く死のイメージとどう異なるかを理解する。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 筆者が自説を述べるために使っている、対比、具体と中小、仮説等論理展開を理解することができる。(11イ) 【思考力、判断力、表現力等】 生命科学の観点から提示される「死」について考えを深め、自分の考えを持っている。(B1ア) 【主体的に学習に取り組む態度】 本文で示された「死とはどのようなものか」について粘り強く考えようとしている。	○	○	○	6
	フェアな競争(内田樹) 【知識及び技能】 筆者が自説を述べるための論の進め方を捉えさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の社会や政治について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。(B1ア) 【学びに向かう力、人間性等】 本文で示された哲学者の事績について粘り強く調べ、内容との関わりがわかるようにまとめる。	・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉えさせる。 ・「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえることができる。(11イ) 【思考力、判断力、表現力等】 現代の社会や政治について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述することができる。(B1ア) 【主体的に学習に取り組む態度】 本文で示された哲学者の事績について粘り強く調べ、内容との関わりがわかるようにまとめようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○	○	1 合計 63

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教 科： 国語 科 目： 言語文化 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1 組：渡邊）（2 組：渡邊）（3 組：渡邊）（4 組：渡邊）（5 組：渡邊）（6 組：渡邊）

使用教科書：（高等学校 精選 言語文化（第一学習社）715）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。

【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」、「書くこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書・読					
1 学 期	古文の学習・児のそら寝 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を理解する。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・これからの学習に見通しをもち、我が国の言語文化に興味関心を深める。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりする。	・歴史的仮名遣いなどの読むために必要な基礎知識の定着。 ・教科書 ・一人一台端末において、調べ学習を実施。 ・ワークシートの活用 ・ICTの活用		○	【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。(1)ア ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。(2)ウ 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。B(1)ア 【主体的に学習に取り組む態度】 ・時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりできる。	○	○	○	4
	伊勢物語 【思考力、判断力、表現力等】 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・「歴史の窓」と「筒井筒」の課題を踏まえて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えさせる。 ・『伊勢物語』の「筒井筒」の段と読み比べ、解釈を深める。 ・積極的に読み比べ、『伊勢物語』『大和物語』それぞれの特色や魅力をワークシートにまとめる。	・和歌の修辞法など基礎知識の定着。 ・教科書 ・古文単語帳の使い方指導 ・大和物語との比較読み指導 ・一人一台端末において、調べ学習を実施。 ・ワークシートの活用 ・ICTの活用 ・グループワークの実施 ・発表の実施		○	【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。B(1)エ ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に読み比べ、『伊勢物語』『大和物語』それぞれの特色や魅力をまとめることができる。		○	○	7
	定期考査					○	○	○	1
	羅生門（芥川龍之介） 【学びに向かう力、人間性等】 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、自分の意見や考えを伝えられるようにする。 ・読書の意義と効用を理解させる。 ・文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを捉える。	・近代文学や思潮を踏まえた上で、内容理解をさせる。 ・教科書 ・一人一台端末において、調べ学習を実施。 ・ワークシートの活用 ・ICTの活用 ・グループワークの実施 ・小説教材「羅生門」		○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、自分の意見や考えをグループで共有できる。 ・自分の意見や考えを伝えるために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。		○	○	6
	徒然草 【知識及び技能】 ・『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解かせる。 ・語句の量を増やし、語彙が豊かになるように指導する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことをつたえられるようにする。	・枕草子や方丈記も含めた日本三大随筆の指導 ・教科書 ・古語単語調べ ・一人一台端末において、調べ学習を実施。 ・徒然草の教訓を理解させる。 ・ワークシートの活用 ・ICTの活用 ・グループワークの実施。		○	【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。(2)ウ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・随筆の内容・構成などを粘り強く把握し学習課題に沿って説明できている。 ・本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合うことができている。	○	○	○	5
	定期考査					○	○	○	1
	夢十夜（夏目漱石） 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙が豊かにする。 ・比喩や言い換えなどの修辞を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解く。 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを捉えさせる。	・作品の時代背景を指導してから内容へ入る。 ・教科書 ・一人一台端末において、調べ学習を実施。 ・ワークシートの活用 ・ICTの活用 ・感想文の実施 ・発表の実施 ・小説教材「夢十夜」		○	【知識及び技能】 ・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。(1)オ ・比喩や言い換えなどの修辞を理解している。(1)カ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・聞き手の理解が得られるよう、情報の分量や重要度などを考えて、自身の考え方、感じ方を伝えられるようにしている。	○	○	○	5

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 国語 科目 文学国語

教 科： 国語 科 目： 文学国語 単位数： 4 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1 組：川東）（2 組：川東）（3 組：川東）（4 組：植竹）（5 組：植竹）（6 組：植竹）

使用教科書：（高等学校 標準文学国語（第一学習社）710 ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている

【思考力、判断力、表現力等】深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で高め、自分の思いや考えを広げたり深めている

【主体的に学習に取り組む態度】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	調律師のるみ子さん 【知識・技能】 本文中に登場する、情景や心情の機微を表す語句・語彙、表現の技法を理解する。 【思考力・判断力・表現力】 ・「るみ子さん」の気持ちが変化する過程を、彼女の身の上に起こった出来事を通して読み取る。 ・老人が「るみ子さん」の調律に何を求めていることが伺えるかについて、自分の考えを文章にまとめる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「るみ子さん」の身に起こった出来事とその心情の変化を粘り強く読み取り、老人が「るみ子さん」の調律に求めていることについて、積極的に自分の考えをまとめて示そうとする。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「るみ子さん」の身に起こった出来事を読み取り、その心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。	○	○	○	10
	清兵衛と瓢箪 【知識及び技能】 ・清兵衛と大人たちの瓢箪に対する考えの違いを通して、価値判断や評価について考えを深める。 【思考力・判断力・表現力】 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・文学史的な作者の紹介など、指導してから内容へ入る。 ・教科書 ・ICTの活用 ・小説教材「清兵衛と瓢箪」	○	○	○	【知識及び技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・場面の移り変わりや登場人物の発言から、清兵衛と大人たちの瓢箪に対する考えの違いを粘り強く読み取ろうとしている。	○	○	○	10
	定期考査		○	○	○		○	○	○	1
	山月記 【知識及び技能】 表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味を踏まえて作品の主題を考える。 【思考力・判断力・表現力】 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・作品の時代背景を指導してから内容へ入る。 ・教科書 ・ICTの活用 ・小説教材「山月記」	○	○	○	【知識及び技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。	○	○	○	15
	相棒 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力】 ・時間の経過とともに登場人物の心情と行動に生じる変化を追い、題名にこめられた意味を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情と行動の変化を時間の順序に沿って粘り強く読み取り、「相棒」という題名にこめられた意味を考えようとする。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「書くこと」において、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情と行動の変化を時間の順序に沿って粘り強く読み取り、「相棒」という題名にこめられた意味を考えようとしている。	○	○	○	7

	物語を創造する〈物語を発現する力〉 【知識及び技能】 ・文体の特徴や表現の技法について理解し、活用する方法を学ぶ。 【思考力・判断力・表現力】 ・物語が人間にとって持つ意味を考え、表現に注意しながら物語を創造する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他の生徒からの批評を前向きに捉え、自分が創作した物語の特長や課題を明らかにする。	・授業態度 ・修辞法 ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 本文中の例を参考にして、学習課題に沿って積極的に物語を創作しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査		○	○	○		○	○	○	1
2 学 期	鼻 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力】 ・鼻が変化した内供と、彼を取り巻く人々の心理の複雑さを、構成を把握しながら読み解く。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・内供と、彼を取り巻く人々の心理や態度を読み取るだけでなく、『今昔物語集』も粘り強く読み取り、作者の工夫をまとめようとする。	・授業態度 ・作者の代表作の紹介から、内容に入る ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。(B(1)オ) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・内供の鼻の変化と心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。	○	○	○	10
	こころ 【思考力・判断力・表現力】 ・物語の展開と出来事を整理しながら、「私」と「K」それぞれの心情をつかむ。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・場面ごとの展開を粘り強く読み取り、登場人物の心情とその変化について理解を深めようとする。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・文学史的な作者の紹介など、指導してから内容へ入る。 ・教科書 ・ICTの活用 ・小説教材「こころ」	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】 ・物語の展開と出来事を整理しながら、「私」と「K」それぞれの心情をつかむことができる。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養おうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・場面ごとの展開を粘り強く読み取り、登場人物の心情とその変化について理解を深めようとしている。	○	○	○	25
	わたしが一番きれいだったとき 【知識及び技能】 ・詩というジャンルの特徴や表現の技法を理解している。 ・我が国の言語文化における本作品の位置づけや特徴について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・詩の構成の意図を考え、過去と後半生に対する「わたし」の心情をつかみ、詩の主題を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた戦争に対する心情などを理解しようとしている。	・授業態度 ・作者の代表作の紹介から、内容に入る ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。 ・象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査		○	○	○		○	○	○	1
	血であがなったもの 【思考力・判断力・表現力】 ・出来事の経緯や人物の発言をもとに心理を読み取り、戦争の体験をどのように意味づけるべきかを考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・戦争の体験をどう意味づけるべきかを考えるために、出来事の経緯や発言から登場人物の心理を粘り強く読み取ろうとしている。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・戦争についての既習事項の確認 ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・戦争の体験をどう意味づけるべきかを考えるために、出来事の経緯や発言から登場人物の心理を粘り強く読み取ろうとしている。	○	○	○	10
	テーマを決めて短歌・俳句を作る 【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにするはたらきがあることを理解する。 【思考力・判断力・表現力】 ・文体の特徴や修辞のはたらきなどを考慮して、読み手を引きつける工夫を学ぶ。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他の生徒からの批評を前向きに捉え、自分の短歌・俳句の特長や課題を明らかにする。	・授業態度 ・指名音読 ・生徒の発表 ・相互評価 ・内容理解 ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用できる。 【思考力・判断力・表現力】 ・「書くこと」において、文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他の生徒が創作した短歌・俳句を、積極的に批評しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査		○	○	○		○	○	○	1

[illegible]

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 国語 科目 文系論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：4 単位
対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組
教科担当者：（1・2組：植竹）（3組：大島）（4組：飯川）（5組：渡邊）（6組：大島）（7組：大島）
使用教科書：（高等学校 精選論理国語（東京書籍）7702）

教科 国語 の目標：
【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 論理国語	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・	聞	書 読					
	ミロのヴィーナス 〔知技〕 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 〔思判表〕 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 〔主〕 ・進んで芸術における具体と抽象の関係性や、筆者の論の進め方を捉え、学習課題に沿って見えないものへと思考を広げる、芸術に対する見方を深める	・授業態度 ・修辭法 ・指名音読 ・発問評価 ・教科書 ・ICTの活用			○	〔知技〕 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 〔思判表〕 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 〔主〕進んで芸術における具体と抽象の関係性や、筆者の論の進め方を捉え、学習課題に沿って見えないものへと思考を広げる、芸術に対する見方を深めようとしている。			○ ○	4
	相手依存の自己規定 〔知技〕 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 〔思判表〕 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが る要旨を把握する。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深める。 〔主〕 ・積極的に筆者の意見と具体例の関連性を理解し、学習の見通しをもって調べた身近な例を整理・分析して自己把握についての考えをまとめ、他者に伝える。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・作品の時代背景を指導してから内容へ入る。 ・教科書 ・ICTの活用			○ ○	〔知技〕 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 〔思判表〕 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが る要旨を把握している。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 〔主〕積極的に筆者の意見と具体例の関連性を理解し、学習の見通しをもって調べた身近な例を整理・分析して自己把握についての考えをまとめ、他者に伝えようとしている。			○ ○ ○	4
	定期考査								○ ○ ○	1
	科学的「発見」とは 〔知技〕 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだ りするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 〔思判表〕 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。 〔主〕 ・進んで中心的主張と事例の関係、「問い」と「主張」という文章の構造を理解し、学習課題に沿って科学的視点に立った、ものの見方や考え方を培う。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法 ・教科書 ・ICTの活用			○ ○	〔知技〕 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだ りするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 〔思判表〕 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 〔主〕進んで中心的主張と事例の関係、「問い」と「主張」という文章の構造を理解し、学習課題に沿って科学的視点に立った、ものの見方や考え方を培う としている。			○ ○ ○	4
	【論理の力】 要約する力 〔知技〕 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 〔思判表〕 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが る要旨を把握する。 〔主〕 ・進んで論理的な文章の構造を理解し、学習課題に沿って、中心的主張を捉えた要約の方法を理解する。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・教科書 ・ICTの活用			○ ○	〔知技〕 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 〔思判表〕 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが る要旨を把握している。 〔主〕進んで論理的な文章の構造を理解し、学習課題に沿って、中心的主張を捉えた要約の方法を理解しようとしている。			○ ○	2

	メディアの変容 [知技] ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 ・推論の仕方について理解を深める。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 [主] 粘り強く筆者の論じる社会の変化と人間関係の分析を理解し、学習課題に沿って人間関係を論じる二つの文章の共通点・相違点を考察して、人間関係の在り方について自分の考えを深める。	・授業態度 ・修辞法 ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	[知技] ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・推論の仕方について理解を深め使っている。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 [主] 粘り強く筆者の論じる社会の変化と人間関係の分析を理解し、学習課題に沿って人間関係を論じる二つの文章の共通点・相違点を考察して、人間関係の在り方について自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	4
	定期考査					○	○	○	1
	「リスク」と「リスク社会」 [知技] ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 [思判表] ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深める。 [主] 積極的にベックとルーマンの各記述から中心的主張を捉えて要約し、学習課題に沿って現代における「リスク」について具体的に考え、話し合う。	・授業態度 ・作者の代表作の紹介から、内容に入る ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	[知技] ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 [思判表] ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 [主] 積極的にベックとルーマンの各記述から中心的主張を捉えて要約し、学習課題に沿って現代における「リスク」について具体的に考え、話し合おうとしている。	○	○	○	3
	「環境」とは何か [知技] ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 [思判表] ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深める。 [主] 粘り強く哲学的視点に立った「環境」に対する筆者の主張を理解し、今までの学習を生かして持続可能な社会環境の実現に向けた具体的な取り組みについて考え、話し合う。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・教科書 ・ICTの活用	○	○	[知技] ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 [思判表] ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 [主] 粘り強く哲学的視点に立った「環境」に対する筆者の主張を理解し、今までの学習を生かして持続可能な社会環境の実現に向けた具体的な取り組みについて考え、話し合おうとしている。	○	○	○	2
	図表の読み取り方 [知技] ・推論の仕方について理解を深める。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深める。 [思判表] ・「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決める。 [主] 積極的に仮説を立てて検証する方法を理解し、学習の見通しをもって情報を収集・整理し、分析することによって仮説の妥当性を判断し、検証の過程を文章にまとめます。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・教科書 ・ICTの活用			[知技] ・推論の仕方について理解を深め使っている。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 [思判表] ・「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 [主] 積極的に仮説を立てて検証する方法を理解し、学習の見通しをもって情報を収集・整理し、分析することによって仮説の妥当性を判断し、検証の過程を文章にまとめようとしている。	○	○		12
	定期考査					○	○	○	1
2学期	思考への扉 1 実在論vs. 唯名論 [知技] ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 [主] 粘り強く二項対立の論理展開や具体例と筆者の主張との関係をつかみ、今までの学習を生かして「である」価値と「する」価値について自分に引き寄せて考え、現代社会に対する認識を深める。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・教科書 ・ICTの活用	○	○	[知技] ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 [主] 粘り強く二項対立の論理展開や具体例と筆者の主張との関係をつかみ、今までの学習を生かして「である」価値と「する」価値について自分に引き寄せて考え、現代社会に対する認識を深めようとしている。	○	○	○	5
	消費されるスポーツ [知技] ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 [思判表] ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。 [主] 積極的にスポーツとメディアという社会事象の分析を通した筆者の主張を読み取り、学習課題に沿ってスポーツについて具体例を挙げながら、自分の考えをまとめる。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・教科書 ・ICTの活用	○	○	[知技] ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 [思判表] ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 [主] 積極的にスポーツとメディアという社会事象の分析を通した筆者の主張を読み取り、学習課題に沿ってスポーツについて具体例を挙げながら、自分の考えをまとめる。	○	○	○	6

	混じり合う言葉 〔知技〕 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 〔思判表〕 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが 〔主〕進んで多言語文化の中で育った筆者の体験と、「言語の環世界」の考察についての関連性を捉え、学習課題に沿って人間の思考や認識と言語についての見方を広げる。 定期考査	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・教科書 ・ICTの活用			〔知技〕 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 〔思判表〕 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが 〔主〕進んで多言語文化の中で育った筆者の体験と、「言語の環世界」の考察についての関連性を捉え、学習課題に沿って人間の思考や認識と言語についての見方を広げようとしている。				6	
										1
3 学 期	資料を活用して論述する 〔知技〕 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深める。 〔思判表〕 ・「書くこと」において、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえる。 〔主〕粘り強くテーマに沿った資料を収集・整理して論題を設定し、学習の見通しをもって資料の価値づけを行い、自分の意見を明確にして論述する。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・教科書 ・ICTの活用			〔知技〕 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 〔思判表〕 ・「書くこと」において、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 〔主〕粘り強くテーマに沿った資料を収集・整理して論題を設定し、学習の見通しをもって資料の価値づけを行い、自分の意見を明確にして論述しようとしている。				12	
	言語と記号 〔知技〕 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 〔思判表〕 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 〔主〕粘り強く具体例と筆者の主張の文章構造をつかみ、学習の見通しをもって言語の持つ文化形成力について、自分の考えを深める。	・授業態度 ・指名音読 ・生徒の発表 ・相互評価 ・内容理解 ・教科書 ・ICTの活用			〔知技〕 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 〔思判表〕 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 〔主〕粘り強く具体例と筆者の主張の文章構造をつかみ、学習の見通しをもって言語の持つ文化形成力について、自分の考えを深めようとしている。				5	
	鏡の中の現代社会 〔知技〕 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 〔思判表〕 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 〔主〕 ・進んで筆者の主張と、論拠となる五つの具体例の関連性を理解し、今までの学習を生かして自分の生きる世界とは異なる価値や時間感覚を持つ社会を知ることの意義をつかむ。	・授業態度 ・指名音読 ・生徒の発表 ・相互評価 ・内容理解 ・教科書 ・ICTの活用			〔知技〕 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 〔思判表〕 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 〔主〕進んで筆者の主張と、論拠となる五つの具体例の関連性を理解し、今までの学習を生かして自分の生きる世界とは異なる価値や時間感覚を持つ社会を知ることの意義をつかもうとしている。				5	
	大学入試演習問題（小説・評論） 【知識及び技能】 入試に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、登場人物の心情、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、内容の理解を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情、展開、語句の理解などを粘り強く読み取ろうとしている。	・授業態度 ・指名音読 ・生徒の発表 ・相互評価 ・内容理解 ・教科書 ・ICTの活用			【知識及び技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。				5	
										合計
										83

高等学校 令和7年度（3 学年用） 教科

国語 科目 理系論理国語

教 科： 国語

科 目： 理系論理国語

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 1,2 (理系) 組

教科担当者： (1, 2 組： 宗)

使用教科書： (精選論理国語 (東京書籍))

教科 理系論理国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 実社会に必要な国語の知識や技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている

科目 理系論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書・読					
1 学 期	ミロのヴィーナス 〔知技〕 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 〔思判表〕 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 〔主〕 ・進んで芸術における具体と抽象の関係性や、筆者の論の進め方を捉え、学習課題に沿って見えないものへと思考を広げる、芸術に対する見方を深める	1 取り上げられている事柄や問題に注意して本文を通読し、全体の構成を捉える。 2 抽象的語句や逆説的、比喩的表現の具体的な内容をつかみ、説明する。 1 ミロのヴィーナスの復元案について述べた第二段の要旨を、二つの形式段落の関係に留意してまとめる。 2 第三段の重要な語句の意味をつかみ、内容を読み取る。 3 「論理的」文章について学習する。(論理の力を鍛えよう) 4 「論理的な文章」の構造を学ぶ重要性をつかみ、社会生活とつなげて考える。		○	〔知技〕 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 〔思判表〕 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握している。 〔主〕 進んで芸術における具体と抽象の関係性や、筆者の論の進め方を捉え、学習課題に沿って見えないものへと思考を広げる、芸術に対する見方を深めようとしている。	○	○	○	9
	定期考査					○	○	○	1
	科学的「発見」とは 〔知技〕 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 〔思判表〕 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉える。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。 〔主〕 進んで中心的主張と事例の関係、「問い」と「主張」という文章の構造を理解し、学習課題に沿って科学的視点に立った、ものの見方や考え方を培う。	1 「図1」と「図3」が何に見えるかを考えながら本文を通読する。 2 「事実を観察するということは、それほど単純ではない。」という筆者の考えを理解する。 3 「『見ることは解釈することだ。』」の意味するところを理解する。 4 「要約する力」(P146)を参考にしながら、本文の中心的な「問い」と「主張」をまとめる。		○	〔知技〕 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 〔思判表〕 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 〔主〕 進んで中心的主張と事例の関係、「問い」と「主張」という文章の構造を理解し、学習課題に沿って科学的視点に立った、ものの見方や考え方を培おうとしている。	○	○	○	9
	メディアの変容 〔知技〕 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 ・推論の仕方について理解を深め使う。 〔思判表〕 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する。 〔主〕 粘り強く筆者の論じる社会の変化と人間関係の分析を理解し、学習課題に沿って人間関係を論じる二つの文章の共通点・相違点を考察して、人間関係の在り方について自分の考えを深める。	1 近代以前・以後の社会と人間関係の変化に注意しながら、本文を通読する。 2 近年のネット環境と人間関係への依存度の関連性について、「制度的な枠組み」が強かった時代との比較に着目して読み取る。 3 複数の文章を比較検討するポイントに着目して、「文章を読み比べるために」を通読する。 2 「分人とは何か」と「メディアの変容」の文章について、「内容」「構成」「表現」の各観点から、共通点と相違点をまとめる。		○	〔知技〕 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・推論の仕方について理解を深め使っている。 〔思判表〕 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握している。 〔主〕 粘り強く筆者の論じる社会の変化と人間関係の分析を理解し、学習課題に沿って人間関係を論じる二つの文章の共通点・相違点を考察して、人間関係の在り方について自分の考えを深めようとしている。		○	○	10
	定期考査					○	○	○	1

[illegible]

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典探究

教 科： 国語 科 目： 古典探究 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1 組：飯川）（2 組：飯川）（3 組：川東）（4 組：飯川）（5 組：飯川）（6 組：飯川）（7 組：川東）

使用教科書：（新編 古典探究（東京書籍）710）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている
- 【思考力、判断力、表現力等】深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で高め、自分の思いや考えを広げたり深めている
- 【主体的に学習に取り組む態度】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	宇治拾遺物語「小野篁、広才のこと」 【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典作品を読み、内容の解釈を深めながら作品の価値について考察している。 【主体的に取り組む態度】 ・積極的に説話の特徴について調べ、これまでの学習を生かして、登場人物の心情や人物像についての理解を深めようとしている。	・授業態度 ・指名音読 ・修辭技法 ・発表態度 ・内容理解 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 【思考力・判断力・表現力】 ・現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 ・説話中の不思議な出来事について、絵巻の絵も参考にしつつ状況を把握し、説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・絵巻と本文とを関連付けて捉えることの意味について、自分の考えを文章にまとめ、発表や討論を通してそれをさらに深めようとしている。	○	○	○	7
	枕草子「ありがたきもの」 【知識及び技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に作者の観察眼や「をかし」という語に代表される価値観について理解し、今までの学習を生かして現代にも連なる心情について自らの考えを深めようとしている。	・授業態度 ・指名音読 ・修辭技法 ・発表態度 ・内容理解 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・本文中の形容詞の意味や用法などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 ・随筆文学としての『枕草子』の特徴について理解し、説明している。 【思考力・判断力・表現力】 ・現代語訳する際の注意点を踏まえて、適切な現代語訳をしている。 ・「ありがたし」が現代のどのような言葉に置き換えることができるかを考え、説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分にとっての「ありがたきもの」を挙げてその理由とともに文章にまとめ、他者に説明しようとしている。	○	○	○	10
	助動詞 「む」「むず」「らむ」「けむ」 【知識及び技能】 ・助動詞の文法的意味を理解しようとしている。 【思考力・判断力・表現力】 ・文法的意味を理解し、現代語訳に直すことができる。 【主体的に取り組む態度】 ・進んで助動詞の活用を考えようとしている。	・授業態度 ・修辭技法 ・発表態度 ・内容理解 ・ワークシート ・ICTの活用	○	○		【知識及び技能】 ・助動詞の文法的意味を理解しようとしている。 【思考力・判断力・表現力】 ・文法的意味を理解し、現代語訳に直すことができる。 【主体的に取り組む態度】 ・進んで助動詞の活用を考えようとしている。	○	○	○	2
	定期考査						○	○	○	1

伊勢物語「初冠」	・授業態度 ・指名音読 ・修辭技法 ・発表態度 ・内容理解 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・『伊勢物語』の初段であることを踏まえた文章の構成や展開に着目し、内容を正確に理解しようとしている。 【思考力・判断力・表現力】 ・現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 【主体的に取り組む態度】 ・進んで「男」の行動や、作者の推測と感想の関係を読み取るとともに、自分の考えを深め、他者に説明しようとしている。	○	○	○	13
土佐日記「馬のはなむけ」	・授業態度 ・指名音読 ・修辭技法 ・発表態度 ・内容理解 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の文の成分の順番や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典を読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 【主体的に取り組む態度】 ・進んで作品の表現や形式の特徴について理解し、作者の意図を読み取ろうとしている。	○	○	○	7
助動詞 「べし」「まし」「らし」「めり」「なり」	・授業態度 ・修辭法 ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○		【知識及び技能】 ・助動詞の文法的意味を理解しようとしている。 【思考力・判断力・表現力】 ・文法的意味を理解し、現代語訳に直すことができる。 【主体的に取り組む態度】 ・進んで助動詞の活用を考えようとしている。	○	○	○	3
定期考査						○	○	○	1
方丈記「ゆく河の流れ」	・授業態度 ・指名音読 ・修辭技法 ・発表態度 ・内容理解 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭技法などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主体的に取り組む態度】 ・進んで表現の特色に注意しながら作品の内容を解釈し、『方丈記』で描かれる「無常観」について考えようとしている。	○	○	○	13
大鏡「三船の才」	・授業態度 ・指名音読 ・修辭技法 ・発表態度 ・内容理解 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・『大鏡』の概要や特徴について理解し、その内容を説明している。 ・本文中の助動詞や助詞の意味、用法などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 【思考力・判断力・表現力】 ・公任の人物像を読み取り、この催しにおける公任の心情について考察し、それに対する自分の意見や感想を持っている。 ・道長と公任の関係、公任の事績について理解し、説明している。 【主体的に取り組む態度】 ・公任が他の船に乗った場合どうなったか考察し、話し合いを通して自分の考えをさらに深めたり広げたりしようとしている。	○	○	○	13

2 学 期	助動詞「じ」「まじ」「たし」「まほし」	・授業態度 ・修辭技法 ・発表態度 ・内容理解 ・ワークシート ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・助動詞の文法的意味を理解しようとしている。	○	○	○	2
	【知識及び技能】 ・助動詞の文法的意味を理解しようとしている。					【思考力・判断力・表現力】 ・文法的意味を理解し、現代語訳に直すことができる。				
	【思考力・判断力・表現力】 ・文法的意味を理解し、現代語訳に直すことができる。					【主体的に取り組む態度】 ・進んで助動詞の活用を考えようとしている。				
	【主体的に取り組む態度】 ・進んで助動詞の活用を考えようとしている。									
	定期考查						○	○	○	1
	徒然草「丹波に出雲といふ所あり」	・授業態度 ・指名音読 ・修辭技法 ・発表態度 ・内容理解 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。	○	○	○	12
	【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。					【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。				
	【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。					・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的、多角的な視点で読み解き、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。				
	【主体的に取り組む態度】 ・進んで随筆を読み比べ、作者の考え方の違いについて考察しようとしている。					【主体的に取り組む態度】 ・進んで随筆を読み比べ、作者の考え方の違いについて考察しようとしている。				
	源氏物語「光源氏の誕生」	・授業態度 ・指名音読 ・修辭技法 ・発表態度 ・内容理解 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。	○	○	○	13
	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。					【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。				
	【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。					【主体的に取り組む態度】 ・積極的に他の作品で言及されたり絵に描かれたりした『源氏物語』と本文とを比較し、今までの学習を生かして登場人物の言動や話の概要とその意味について考察しようとしている。				
	【主体的に取り組む態度】 ・積極的に他の作品で言及されたり絵に描かれたりした『源氏物語』と本文とを比較し、今までの学習を生かして登場人物の言動や話の概要とその意味について考察しようとしている。									
	定期考查						○	○	○	1

3 学 期	入試演習問題（説話、随筆、日記、評論、物語、紀行、歴史、小説） 【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的に取り組む態度】 ・我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解を深めている。	・授業態度 ・指名音読 ・修辞技法 ・発表態度 ・内容理解 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的に取り組む態度】 ・我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解を深めている。	○	○	○	5
	定期考査						○	○	○	1
										合計
										105